



2010.6.12 司祭年を締めくくる城東ブロック合同ミサ

愛の業

助任司祭ニコ

愛には、価値があり価値があるからこそだれもが愛を望みます。キリスト教にとって愛は最も重要で、御父はイエスによって父なる神の愛を示して下さいました。この愛こそ、キリスト教の根本的な教えです。

イエスの「私があなた方を愛したようにあなた方も互いに愛し合いなさい」の言葉は、イエスご自身が私達を愛して下さった愛し方で「互いに愛し合いなさい」という掟を言い残されたのではないのでしょうか。

初代教会では、色々な人が教会を訪れました。お互いの国籍、文化、個性、身分、性格の違い等認め合いながら、一致していくように受け入れ、失敗があっても赦し合うように、イエスは「互いに愛し合いなさい」とおっしゃったのです。私たちも同じ教会、性格、身分の人を愛し受け入れ合うだけでなく、それぞれの違い、欠点、弱さを持つている人も、「お互いに受け入れ愛し合う」という事です。そして、この愛の業を行う為に、聖霊の力を願い、神の恵みを頂いてこの愛の業を実現して参りましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday:
9:30 am Mass in English (Maria Kan-Hall)
第4日曜日 午後3時30分 ベトナム語のミサ

「はつせいたいをうけて」

マリア・テレサ 加藤 純

わたしは、はつせいたいをうける前、はつせいたいの方に、ちゃんと心から、神様をむかえられるようにいっしょうけんめいべんきょうしていました。そして、たらくさんのことをまなびました。どういうことをまなんだかという、ゆるしのひせきは、自分がわるいことしたときのことを思いだして、しんぷ様にこくはくして神様にゆるしてもらうことや、ごせいたいのでいただきかたなど、いろんなことです。べんきょう会でもだちもできて、とてもたのしかったです。しきのときも神様をちゃんと心からむかえられて、すぐすぐうれしくて、しゃしんをとるときも今までの中でさいこのえがおでとれたと思います。だから今、神様は、わたしをわるいことにまけないつよい子にしてください。

「うれしいはつせいたい」

パウロ 内藤 剛

なんざんきょう会は、はつせいたいですが、2年生だったからびつくりしました。はつせいたいには4年生だともったからです。ぼくが、ながのでかよつてきた、きょう会は、4年生だったからです。それにふつうは、4年生だともうからです。でも、はやく、ごせいたいでもらえるから、うれしかったです。ごせたいは、おいしいとおもったけどあじがしませんでした。「なんだ。」とおもいました。はつせいたいの日できんちようして、あせをかいちゃいました。きんちようしたけどうれしかったです。あとのパーティーがたのしかったです。

「はつせいたいをうけて」

KENTA LIAM 伊東賢太

ぼくは、6月6日、日曜日にはつせい体をうけました。その前に、いろいろとべんきょうをしました。テレビを見てノナのべんきょうしたり、テキストのべんきょうしたりして、いそがしかったけどごせい体をうけた後やつとおわつたとおもいました。そしてごせい体をうけてたべてみて、なんにもあじがしませんでしたけどなかなかうれしかったです。その後、みんなでしゃしんをとりました。それにパーティーがありました。きょうかいのしんせきつぽい人からじゅうじかのプレゼントをもらいました。家にかえると、アメリカのしんせきからおいしいのプレゼントをもらいました。たのしく、うれしい一日でした。

「はつせい体の思いで」

フランチェスカ 瀬瀬 しほり

おべん強がすこしむずかしかったけど、神父さまがちゃんと教えてくれたからちゃんとおべん強ができました。これからは家でべん強がんばります。もつと神さまのことがわかりたいです。ほんばんの時よめるかなあとおもったけどよんでみたらよめました。

これからいろいろなことをはつぽようするとき大きな声ではつぽようができると思います。はじめてごせいたいをうけると

きは、うれしくてとてもやさしいきもちでした。このきもちをわすれないようにします。

はじめは、きんちようしました。でもしばらくしたらきんちようがとまりました。

これからははじめからきんちようしないようにがんばります。

うれしいはつせいたい

マリア 松原 優芽

2年生になって、はつせいたいのべんきょうかいを、うけることが、できるようになって、うれしかったです。まいしゅう、アントニー先生とおもだちといっしょに、たのしくべんきょうを、うけられました。とくに、「おばあちゃんのパン」のえいが、心のこつています。イースターにくべつなパンをやることや、かぞくのいっちをたいせつにしているおばあちゃんがかつたです。これから、かぞくといっしょに、ごせいたいをうけられるようになつて、まいしゅう日曜日のミサが、たのしみになりました。

RASAに参加して

笠原千紗子

私は昨年8月にRASAに参加し、フィリピンにて小学校の教室建設ボランティアをしました。私がRASAに参加した理由は、心だけではなく、実際に自分の手足を使ってフィリンの子どもたちのために働くことができると思ったからです。微力であっても、自分の労働力をささげたいと思いました。「両手があるなら、ひとつは自分のために。もうひとつは隣人のために。」というマザー・テレサの言葉を実行したかったのです。

建築作業といっても、地元大工さんが効率よく作業できるように、砂やブロックを運んだり、コンクリートを作ったりしてサポートをするといった簡単なものでした。しかし、実際に教室をつくりあげていく作業に参加したことで、身の回りのどのような製品や建物に対しても、人の汗が加わったものであることを再認識し、感謝とともに大切にしていきたいと思うよ

うになりました。

現場は小学校の敷地内でしたので、作業中は小学生に励まされ、休憩中は共に遊び、雨で作業が中断した時は折り紙教室を授業内でさせていただきました。また、日系企業の工場や、スモークーマウンテンを訪れる機会も与えられました。どちらも丁寧な説明と質問にも答えてくださり、理解を深めることができましたと思います。

今年も45名の学生が現地で作業をします。私は、RASAに参加している間中、メンバーや小学生ホストファミリーや地元の方の愛に包まれているのを実感し、自分も同じように接していました。そして、南山教会で文房具の寄付を募ったところ、多くの方に御協力していただき、建築作業した小学校とスモークーマウンテンにあるスクールの子供に渡すことができました。ご協力ありがとうございました。

この経験から、愛を持って隣人のために働くという心とは、どんな場所でも実行できるとあらためて思いました。この体験で感じたことをこの場限りのも

のにせず、これからも大学や家庭などそれぞれ自分の居場所や、またそこから一歩ふみだし、どのような小さなことでも実行していきたいと思えます。実際に体を動かすことから、このように考えることもできたことを感謝します。

【NPO 法人 RASA-Japan について】
<http://rasa-japan.com>

神言会 シーランド神父のお父

様はアメリカで野菜を商う事業家でした。そのお父様が亡くなられ、遺産がお母様とご兄弟の間で相続されることになりました。しかし、シーランド神父は聖職者の身であるために、相続金を受け取るわけにはいかず、お母様が、シーランド神父の分も合わせて相続されました。シーランド神父は世の中に役立つ使い方をしたいと願い、お母様はその意向を汲んで、フィリンに奨学金基金を設立されました。その基金の名が Mother

Laura Gertrude Seland Foundation (MLGSF) です。RASA(Rural Asia Solidarity Association)はフィリピンへの国際協力を行うボランティア団体としてフィリピンの



NPO 法人 MLGSF を支援しています。活動資金のすべては一般の方々からの寄付金のみが頼りです。1万円です。フィリンの子供1人が1年間学べます。
【振込口座】 ゆうちょ銀行 00890-431185
【振込名義】 特定非営利活動 法人 RASA-Japan
「なお、7月25日、9時半ミサ後に募金活動を行います。ぜひ御協力ください。」

愛と苦しむ (その18)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

5・2 ゲツセマネの園・

誠実な神の苦しむ

「わたしたちが誠実でなくとも、キリストは常に真実であられる。キリストは御自身を否むことができないからである。」2テモ2・13

神が人間を創られたのは、人間を愛するために、すなわち人間とご自分の愛、ご自分の命、ご自分のすべてのもので、最終的にご自身を分かち合うためなのです。人間が神に関して無関心であっても、神の愛を拒んでも、神はこの人間を愛し続けま

す。イエスはイスカリオテのユダによって裏切られても、彼を友として考え続け、愛し続けたように、人間が神を裏切っても、神は人間を愛し続けます。神の愛にあまり慣れてしまつた人たちにとって、神が人間への愛に忠実であることは、当然で、当たり前のように見えても、または、神が人間の罪をゆるすことは、自然で簡単にできるように見えても、神の忠実は、決して当然でもなければ、簡単でもありません。旧約聖書の洪水の話が示しているように、神の望みに従って互いに愛しあう代わりに、憎みあい、傷つけあう人間の姿を見ることが神にとって大きな苦しみとなっています。ですから、この世界を滅ぼすことや、人間に対する愛を諦めること、少なくとも、人間がもはや悪を行うことができないうために人間の自由意志を奪い取ることは、合理的な解決に見えるかもしれせん。実は、この世界に満ちあふれる悪と苦しみの大きさを見て多くの人は、この世界が創造されないう方が良かったと思うようです。個人のレベルにおいて、自殺と

か安楽死とか人工中絶など、社会のレベルでは、強制収容所とか、ホロコーストとか、民族浄化などがこのような考え方を表しています。けれども、神にとつて、存在しているすべてのものが大切であり、すべての人々が存在する価値があるのではなく、愛する価値があるのです。この愛の故にこそ、神は一人ひとりの人間のためにも、全世界のためにも大きな希望、大きな夢をもっておられます。神は、ご自分でお創りになった世界を滅ぼすのではなく、この世界に対するご自分の望み、ご自分のこの夢の実現のために絶えず働いておられます。神の「手」の中にこの望みと夢は、全世界の救いの計画になっています。

ゲツセマネの園で、血の汗を流すほど大きな恐れと苦しみを感ずるでも、父である神への忠実、神の愛の計画への忠実を最終的に選んだイエスの姿は、父である神にとつて愛し続けることとがどれほど苦しいことであるかを現しています。人間に対する愛のために、神がそれだけ苦

しんでおられるにも関わらず、わたしたちを忠実に愛し続けてくださっているということさえ言えると思います。

参照… 創 6・11-13・8・

21… 知 11・23-25・12・2

5・3 人間によつて

裁かれる神

5・3・1 ヨブの裁きに対する神の反応

「ヨブは立ち上がり、衣を裂き、髪をそり落とし、地にひれ伏して言った。「わたしは裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。主の御名はほめたたえられよ。」このような時にも、ヨブは神を非難することなく、罪を犯さなかつた」ヨブ 1・20-22

ヨブは、今まで一番大事にしていたすべてのものを失った後、せめて神が正しい方であるという自分の信仰を失わないように一生懸命に努力してしまし



た。ヨブの友達はこの悲惨な体験を神が下さった罰として認めるように誘ったが、ヨブは一度も罪を犯さなかったという確信をもったために、このような考え方を退けました。自分の苦しみの原因について考えたヨブは、今まで楽しんでいたすべて

のものがご自分の自由意志に基づいて神が無償で彼にくださった賜物であったという事実が付きましました。そして、もし、神がそのようなものをヨブに自由に、無償で与えてくださったならば、それをご自由にいつでも奪い取る権利があるという結論を出しました。ヨブは、そのような考え方によって、神の正しさを守ることができると思いました。しかし、神は決してこの結論を好んだのではなく、逆にヨブに關して非常に怒ったのです。

確かにヨブは、神の正しさを守ることを目指しましたが、そんなつもりがなくても実際に、ヨブの結論は、神がヨブの不幸の原因であり、神が彼に対して悪を行ったという訴えになりました。これに比べて、神はヨブのところに来られて、ヨブが神と比べれば無に等しい存在であり、彼には神がなさることを正しく理解する能力がない故に神を裁く権利もないことをお示しになりました。

参照：ヨブ 10・2・3

「あなたのことを、耳にしてはおりました。しかし今、この目であなたを仰ぎ見ます。それゆえ、わたしは塵と灰の上に伏し／自分を退け、悔い改めます。」ヨブ 42・5・6

神と直接に出会った後にヨブは、今まで神を正しく知らなかったのが、神について語ったことが間違っていたことを認め

ました。自分の過ちを認めてから、ヨブは謙って、不正な裁きとなった自分の言葉をすべて取り消しました。

ヨブは、神に關する不正な裁きを行い、間違った判断をしたにもかかわらず、何かの罰を与えられたものではありません。友達が提案した簡単な解決を退けて、自分なりの力を尽くして、神がなさることを正しく理解しようとしたヨブの努力が報われました。ヨブは、直接に神と出会う恵みと神の偉大さを知る恵みを与えられました。それから、失ったすべてのものも、戻されたのです。

この物語がわたしたちに教えるのは、わたしたちが自分の苦しみの原因を知らない時に、あまり簡単な答えで満足したりしてはいけないということ、また、神がわたしたちの苦しみの原因であると決して考えてはいけないということなのです。神がわたしたちに不幸をもたらすことが絶対にはないのです。

参照：ヨブ 40・1・14

(つづく)

スカウトバザー盛況裏に終わる！

伊藤 宗太郎

例年6月に開催されるスカウトバザーは、13日9時半ミサ後大賑わいではじまった。梅雨が心配されたが、曇り空で雨は降らなかった。奇跡！

カレー、みたらし、焼きとり、焼そば、チヂミなどの模擬店、目玉の新品コーナー、掘り出し市、古着店、AJUワインやワッパンなどの協賛店が威勢よい掛け声で一斉に出揃った。

ミサ後の信者の方がたや近隣の人びとが大勢押しかけられて、マリア館一階の新品コーナーの前には行列ができた。子どもたちはゲームの輪投げ、レーシングカー競争に夢中になっていた。ビーバーちゃんたちは何が当たるかわからない一回10円の賞品を買い物袋に入れて、かわいい声で売り歩いていった。

このバザーは活動資金確保と教会近隣との親善の輪を広げるため、97団発足以来三十数年にわたって繰り広げられてきた伝統行事だ。今年も盛大に開催でき、みな様のご協力とご理解に深く感謝申し上げます。最終純利益は35万円余で、前年並の実績だった。入梅の季節としては上々の成果だ。神様に感謝！

第二回運営委員会議事録

日時 2010年6月13日

司祭団より

アンジェイ師自己紹介

報告事項

- 1 運営委員会名簿について
完成版が示された。
- 2 信者全体集会について
月報に報告済。
2件の要望は、ともに納骨堂
に関するものだった。
- 3 教会美化について
多くの参加をいただいできれいに清掃できた。ゴミの処分は西尾さんの世話になった。
- 4 わだち祭りの報告
いなり寿司2百パック作って持参した。南山教会でも販売するため余分に百パックほど作った。売り上げは3万6千円。うち南山での販売分は、7千2百円。
担当班以外にもマリア会の皆さんのご協力をいただいた。
- 5 初聖体について
初聖体については、アントニオ助祭のもと日本語で9人の子ども、ヤヌシュ神父様のもとポーランド語で1名の子ど

も、ケレハ神父様のもと英語で2名の計12名が、初めてご聖体を受けることができた。ミサもパーティーも皆様がそれぞれ役割を快く引き受けて下さり、お互いを思いやる中で、大変気持ちよく行うことができた。

- 6 バザー実行委員会
実行委員会名簿が配られた。副委員長は西尾さんをお願いすることになった。書記は、昨年実行委員長の笠原さん。会計は伊藤恭輔さん。テーマは募集中。7月4日まで。7月に実行委員会開催予定。
- 7 新「青年会」発足について
9名の青年と話し合いを行った。プログラムとしては、毎月集いをもち、聖書を読んで分かちあうことや教会の行事への積極的な参加を計画していく予定。運営委員会には堀さんが出席。
教会の手伝いをし、みんなで励ましあって信仰を深めていきたい。
- 8 災害備蓄品納品について
マリア館倉庫の中のシャワー

室だったスペースに納品された。百人分の非常食や水、ろうそく、毛布、トイレ。財源は、バザーの際に積み立ててきた災害対策金百二十万円。

- 9 城東ブロック会議
会議内容報告。
司教様叙階記念・司祭修道女金祝銀祝は7月4日開催。
城東ブロックが運営を担当する。その中で南山教会は、献金とパウンドケーキの提供を担当。パーティー後の掃除も手伝う。献金は、回収と集計のために8名が必要。お手伝いをお願いする。
- 10 昨年度会計報告について
7月11日司教様を囲む懇談会は南山教会マリア館で開催。
別紙のとおり
信者全体集会にて報告済み
赤字ではないが、余裕なし。
昨年度の大きな出費は、大聖堂の照明工事と事務所のエアコン工事。
- 11 審議事項
マリア館和室の畳替え
マリア館竣工以来一度も畳を替えていないので擦り切れて屑が服に付く。

表替えだけでもできないかという希望があった。表替えなら、1枚5千円、全体で5万円くらいで実施できそうである。必要なことなので、直ちに表替えを実施する。

- 2 納骨堂設置希望に関して
信徒全体集会を受けて5月最終週に行ったアンケートの結果を見ながら検討。
納骨堂管理委員会のメンバーを一時増員し、教会内への納骨堂設置について検討していく。専門家の参加を依頼する必要もあるかもしれない。
- 3 運営委員会傍聴制度
信徒の皆様親しみを保持していただくため、希望者に傍聴を許可する。傍聴のみで意見はいただかない。
次回運営委員会の前のお知らせに「運営委員会の話し合いの様子は傍聴可能です。」という文を入れる。
- 4 8月平和の祈りについて
恒例となった8月6日・9日の祈りの実施方法確認。6日は8時からミサを行う。
9日は、10時45分から聖体賛美式を行う。これらの祈り

は、城東ブロックの行事として位置づけられている。

5 災害備蓄品収納場所表示

先回笠原さんから提案のあった災害備蓄品の場所を示す看板が必要かどうかを審議。看板を製作して備蓄場所が分かるようにする。

6 司教様叙階記念・司祭修道者金祝銀祝について

献金のお手伝いとして、泉さん、小池さん、松田さん、小田さんが確定。あと2名は、今後、声をかけていく。パウンドケーキはマリア会の1班で6月29日に焼く。24本。マリア館厨房のオーブンを利用。城東ブロック会議参加者は11時半に集合。

各会報告

ボーイスカウト

親子ハイキング実施。5月

15日金華山岐阜城登山

参加者43名(内スカウト23名)楽しかった。

スカウトバザー6月13日実施

夏の水泳訓練7月17日～19日に実施予定知多半島内海

岸にて42名参加予定

第15回日本ジャンボリー

8月1日～9日

静岡県富士宮市朝霧高原にて

5名参加予定

夏の山の訓練

8月13日～15日

豊田市総合野外センター

六所山登山

30名参加予定

大樹の会

お茶会

6月20日

マリア館2階和室にて

中高生会

7月18日、台湾の新立神父

様が50名の合唱グループを

連れて南山教会に来る。

9時半のミサでグレゴリオ聖

歌をいっしょに歌う。

中高生会が交流を計画。

ロザリオ一連のプレゼントと

歌の交流になる見込み。

英語ミサ

8月は英語ミサはお休み。

バーベキューの会を7月4日

に開催するかもしれない。

英語ミサからの初聖体2名。

典礼委員会

5月9日 マリア祭

5月16日

典礼委員会

6月4日

教区典礼委員会

6月6日

初聖体

6月20日

典礼委員会

8月6日

8時～平和の祈り

のためのミサ

8月9日

10時45分

平和の祈りとして

聖体賛美式



2010.7.4 司教様叙階記念 司祭・修道者金祝銀祝

カトリック教会のカテキズムより

- 1626 「教会は新郎新婦間の同意の交換を、「結婚を成立させる」不可欠な要素とみなしています。同意がなければ結婚は成立しません。」
- 1627 「同意とは、「配偶者が互いに自分を与えそして受ける人間行為」のうちで成立するものであり、それは、「わたしはあなたを妻とします」「わたしはあなたを夫とします」ということばで表されます。新郎新婦を互いに結び合わせるこの同意は、二人が「一体」となることで完成します。」
- 1628 「同意は、暴力または外部からの強度の恐怖によって束縛されていない当人各自の意志行為でなければなりません。いかなる人間の権力も、この同意に取って代わることはできません。もしもこの同意が自由意志で行われたものでないとするれば、結婚は無効です。」

第四回運営委員会議事録

日時 2010年7月4日

報告事項

- 1 運営委員会名簿について一部訂正を加え、最終版を確認した。
- 2 司教様を囲む懇談会
7月11日に開催する。
運営委員長より準備状況を報告。
- 3 八月の「平和の祈り」と聖母被昇天祭について
8月6日午前8時よりミサ、
8月9日午前10時45分より聖体賛美式を、いずれも小聖堂にて行う。参加人数が多い場合は、大聖堂に変更することもありうる。原爆投下時刻にあわせて平和の祈りを捧げる。

両日ともミサにはどうかとの意見が出ていますので、来年度にむけての検討事項として、運営委員会で話し合いたい。

8月15日の聖母被昇天祭が日曜日にあたるので、今年はミサ後に簡単なお祝いの会を運営委員会主催で行う。

審議事項

- 1 敬老会について
9月19日に開催する。準備状況についてマリア会に確認した。お弁当の手配等は例年通り教会事務所を通じて注文する。
余興については、運営委員長を通じて関係者に依頼する。
- 2 教会美化について
9月26日に行う。5月と同様の形でヨセフ会が中心となつて準備、実施することを確認した。
- 3 教会各会の活動、
教会の問題点などについて運営委員長より、各会の活動において困った点や教会内の問題点として皆で話し合いたいことなど、運営委員会に自由の問題提起してほしい、との提案があった。
これに対し、転入者や新たな受洗者が、各会の活動に加わりやすくする工夫が必要ではないかとの問題提起があり、
現行の教会案内の冊子以外に、各会の活動内容、連絡先などを具体的にまとめた簡単な資料を作ってはどうかとの

提案があった。冊子を作るだけでなく、直接手渡ししてお誘いすることが大切だとの指摘もあった。

4 その他

マリア館2階集會室、和室の冷房の効きが悪いので、点検してほしいとの要望。
7月18日のミサでは、台湾から来日する39名の中高生合唱団が、聖歌を歌う(既報)。
新立神父(神言会)の紹介によるもの。当日のミサの準備については典礼委員会を通じて詳細を確認する。
一行は合唱団員のほか、引率者など含め50名。ミサ後に茶話会を行って歓迎したいので、その準備を中高生会にお願いする。
運営委員会を誰でも傍聴できるようにしたのは大変良いこととの評価をいただいた。場所案内(司祭館1階會議室)をわかりやすく説明する必要があるとの意見があった。

各会報告

- ボーイスカウト
7月11日午後1時半から4時まで、教会中庭で日本ジャンボリー結団式。約70名参加。
6月13日のスカウト・バザーの純益は35万円余り。御礼申し上げます。
大樹の会
7月18日の9時半ミサ後、マリア館2階和室にてお茶の会を行う。
中高生会
夏の合宿を8月20日から22日まで、マリア館にて行う予定。
英語ミサ
8月は英語ミサはお休み。
典礼委員会
7月11日、典礼委員会開催。
7月18日9時半、台湾からの中高生合唱団が歌うミサ。
8月1日9時半より、侍者会のミサ。
8月6日8時より、ミサ(平和の祈り)
8月9日10時45分より、聖体賛美式(平和の祈り)

典礼奉仕者の会

主な報告内容は典礼委員会と同じ。7月18日のミサ（台湾の中高生合唱団参加）で必要なキーボードの準備など、詳細は7月11日の典礼委員会会で確認する。

8月6日、9日のミサ、聖体賛美式では原爆投下時刻にあわせて黙とうの鐘を鳴らすので、典礼奉仕者からの参加を呼びかける。

レジオ・マリエ

7月10日（土） 13時半から16時半まで、マリア館ホールにて名古屋クリア黙想会。指導は野村司教様。

マリア会

7月4日「司教様叙階記念・司祭・修道女の金祝銀祝」にあたり、一班が中心となり、6月29日にパウンドケーキ3百人分を作りました。

バザーの担当を班ごとに以下の通り分担することとした。

- 1班・おでん。
- 2班・唐揚げ。
- 3班・洋菓子。
- 4班・栗ご飯。
- 6班・ぜんざい。



2010.7.4 司教様叙階記念 司祭・修道者金祝銀祝

7班・みたらし。
8班・フリーマーケット。
9班・新品コーナー。
11月5日（金）に遠足、野外ミサを予定。行き先は、検討中。
以上。

次回運営委員会は9月5日の予定（8月はお休み）。

カトリック南山教会

立場	名前
主任司祭	ボクダン師
運営委員長	泉 亨
副運営委員長	小池 康弘
副運営委員長	成井 詔彦
典礼委員長	新内 飛鳥
財務委員会	伊藤 恭輔
広報委員会	松田 征雄
ヨセフ会	松浦 典文
ヨセフ会	松田 征雄
マリア会	松田 洋子
マリア会	福井 しおり
マリア会	今枝 由美子
典礼奉仕者の会	森 一重
信徒協	神戸 六郎
信徒協(宣司評)	松浦 典文
信徒協(宣司評)	永田 哲夫

2010年度 運営委員会名簿

立場	名前
助任司祭	ニコ師
助任司祭	アンジェイ師
信徒協(宣司評)	田中 梅子
信徒協(宣司評)	二村 祥子
大樹の会	伊藤 宗太郎
教会学校	伊藤 恭輔
レジオ・マリエ	岡本 朝子
青年会	堀 洋介
中高生会	Sr. 梅村 祥子
中高生会(父母の会)	松本 良子
子供部屋	西脇 瑞木
聖ラザロ村友の会	伊藤 宗太郎
英語ミサ	Kumai, William Naoki
手話の会	小澤 順子
要約筆記者の会	小田 逸美
ボーイスカウト	伊藤 宗太郎

2009年度決算報告書(2009.4.1~2010.3.31)

一般会計

〔収入の部〕 単位：円

科目	決算	予算
維持献金	17,643,350	17,000,000
ミサ献金	6,612,842	6,500,000
祭儀献金	3,405,000	8,000,000
墓地料収入	900,000	1,300,000
その他献金収入	4,216,457	5,500,000
献金小計	32,777,649	38,300,000
特別献金収入	1,948,607	2,000,000
受取利息	19,330	70,000
雑収入	76,559	200,000
収入合計	34,822,145	40,570,000

〔支出の部〕

科目	決算	予算
典礼書購入	479,439	300,000
聖具補充	59,039	600,000
花・ローソク・ホチヤ	576,748	600,000
儀典費小計	1,115,226	1,500,000
復活祭	190,506	180,000
堅信式	55,829	60,000
敬老の日	126,339	160,000
クリスマス	32,439	60,000
成人式	16,161	20,000
諸行事	62,731	80,000
集会費小計	484,005	560,000
宣教司牧費	731,148	800,000
墓地費	16,000	10,000
黙想会費	0	30,000
教区分担金	2,408,000	2,500,000
宣司評分担金	240,800	250,000
神学院助成金	500,000	500,000
その他寄付金	1,121,055	1,500,000
寄付金小計	1,621,055	2,000,000
運営委員会	0	20,000
典礼委員会	28,273	100,000
広報委員会	4,925	450,000
典礼奉仕者の会	117,819	230,000
大樹の会		30,000
ヨセフ会	2,400	50,000
マリア会	46,116	150,000
勤労青年の会	12,000	50,000
中・高生会	270,917	400,000
中・高生父母の会	16,410	100,000
教会学校	499,778	630,000
子ども部屋	41,938	50,000
レジオマリエ	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000
信徒協	8,675	30,000
南山手話の会	21,918	50,000
要約筆記者の会	27,196	40,000
英語ミサ	10,840	30,000
諸活動費小計	1,339,205	2,640,000
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	1,948,607	2,000,000

〔支出の部 続き〕 単位：円

科目	決算	予算
建物修理	140,000	3,500,000
オルガン修理	26,250	250,000
保守管理費	1,792,953	2,200,000
環境整備費	0	500,000
その他	1,388,100	100,000
修繕費小計	3,347,303	6,550,000
車両維持費	800,856	900,000
印刷費	909,347	1,000,000
事務用消耗品費	168,896	400,000
旅費交通費	0	10,000
通信費	1,412,570	1,500,000
消耗品費	1,083,527	800,000
水道光熱費	4,150,348	4,600,000
支払保険料	338,705	60,000
雑費	64,048	10,000
給料	7,365,480	7,400,000
雑給料	510,000	670,000
退職金	0	0
法定福利費	1,011,351	1,020,000
人件費小計	8,886,831	9,090,000
支出合計	34,426,477	40,570,000
消費収支差額	395,668	0

尚、消費収支のほか資本的支出として、

建物付属設備(大聖堂照明) 2,730,000円
 建物付属設備(大聖堂玄関照明) 273,000円
 備品(事務所エアコン) 1,050,000円

があります。

平成22年5月9日

以上の通り、ご報告致します。

財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ正確に
 処理されていることを認めます。

監査役 公認会計士 坂浦正輝

2009年度決算報告書(2009. 4. 1~2010. 3. 31)

司祭館建設のための特別会計

〔収入の部〕			〔支出の部 続き〕		
単位：円			単位：円		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
新築献金収入	70,000	0	雑費	500	0
受取利息	237	0	支出合計	500	0
雑収入		0			
収入合計	70,237	0	消費収支差額	69,737	0

平成22年5月9日

以上の通り、ご報告致します。

財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ正確に
処理されていることを認めます。

監査役 公認会計士 坂浦正輝

2009年度決算報告書(2009. 4. 1~2010. 3. 31)

収益事業

〔収入の部〕			〔支出の部 続き〕		
単位：円			単位：円		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
物品売上収入	7,227,955	6,500,000	事業原価	6,250,963	5,400,000
受取利息	92	0	通信費	17,630	15,000
雑収入	657	0	消耗品費	18,438	15,000
収入合計	7,228,704	6,500,000	租税公課	95,200	70,000
			雑費	5,600	0
			給与負担金	800,000	1,000,000
			支出合計	7,187,831	6,500,000
			消費収支差額	40,873	0

平成22年5月9日

以上の通り、ご報告致します。

財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ正確に
処理されていることを認めます。

監査役 公認会計士 坂浦正輝

南山旬会

平成二十二年六月二十四日



白洲展戦後を語り五月尽

つぎつぎと友の逝きけり聖母月

あちこちに脱ぎ捨てし皮竹の秋

雨上り月下美人を待つ今宵

白光の牡丹の肌に触れてみし

余り苗手にし翁の田に独り

滝までの水の流れの速さかな

弥撤終えて茶室に憩う若葉風

夏めくや校庭に舞う乙女達

我が家の庭を色どる柿若葉

竹の秋荷を分かち行く母卒寿

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

瑞子 せつ子 光子 幸男 佐知子 洋子 のぼる 牧子 とく子 蓉子 あき子

信者の消息

結婚

♡ お幸せに ♡

2月13日

清水 武 ♡ マリア 伊藤 奈保里

5月8日

パウ加 奥野 次郎 ♡ 寺本 貴子

6月5日

服部 佳樹 ♡ テレジア 浅井 三千代

帰天

ご冥福をお祈りいたします

幼きテレジア 大木 榮子 (67歳)

転入

ようこそ

モニカ 坂野 はる子 (布池)

転出

いつまでもお元気で

ゆか 水野 裕之 (戸部)
レーネ 水野 じゅあ (戸部)
マリア・ローザ 加藤 萬季子 (恵方町)
マリア・テレサ 内藤 紗絵 (三浦町)

2010年7月・8月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月			2(金)マリア会例会 (懇談会) 4(日)運営委員会 11(日)典礼委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 18(日)教会学校終業式 24(土)要約筆記付きミサ	
8月	6(金)主の変容 15(日)聖母の被昇天	6(金)平和の祈り 9(月)平和の祈り 15(日)聖母被昇天祭 (聖母行列)	28(土)要約筆記付きミサ	1(土)~4(火) 侍者会(神言神学院) 4(水)~6(金) 中高生広島巡礼 6(金)~15(日) 平和旬間